

- 工業の製造品出荷額等 36 億 45 百万円（平成 25 年）。窯業・土石製品、食料品、輸送用機械器具を主に生産。
- 商業販売額 414 億円（平成 26 年）。中心市街地の活性化が今後の課題。
- 一次産品を利用した地場産業の育成が、商工業発展の鍵。
- 離島物価の克服には、自給生産体制、流通問題等多面的対応が望まれる。
- 豊かな自然に育まれた特産品のブランド化及びその販路拡大などが課題。

第 1 節 鉱工業

1. 鉱業

対馬の地下資源は豊富で、殊に、亜鉛、鉛鉱は、東邦亜鉛（株）により厳原町佐須地区で採鉱され、対馬の第 2 次産業の柱であったが、ドルショックやカドミウム公害問題等の影響で、昭和 48 年 9 月、閉山するにいたった。

一方、厳原町久田地区から小浦地区にかけて埋蔵する陶石、白土は、明治中期より有田焼の釉薬に使用され始め、昭和初期に磚子原料としてその特性が評価され、日本で唯一のソーダ長石鉱床として開発が進められた。その後、ガラス、白色セメント、衛生陶器、タイル用など広く窯業原料として、同町阿須地区において採掘され、瀬戸、天草と並んで日本の 3 大産地の一つに数えられている。

2. 建設業

建設業は、対馬の第 2 次産業において大きなウエイトを占めており、平成 24 年経済センサス（2 月 1 日現在）によれば、事業所数 183、従業者数 1,326 人となっている。かつては離島振興法により公共工事が多かったが、近年、公共事業費が大幅に減少し、建設業者の倒産・廃業とそれに伴う雇用機会の喪失が課題であった。しかし、事業費の確保とともに

に経営環境は改善しており、現在、技術者の確保が課題となっている。

3. 製造業

平成25年末における対馬の製造業は、事業所数43、従業者数387人、製造品出荷額等36億4,461万円となっており、小規模なものがほとんどである。1事業所当たりの出荷額は、8,476万円と県平均の9.6%しかなく、本島製造業の零細性がうかがえる。

業種別の出荷額は、窯業・土石製品製造業、食料品製造業、輸送用機械器具製造業が多くを占めているが、いずれも小規模なものである。

第8-1表 業種別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等（従業者4人以上）
(平25.12.31)

区分	事業所	従業者(人)	製造品出荷額等(万円)
合計	43	387	364,461
食料品製造業	17	162	89,975
飲料・たばこ・飼料製造業	1	13	X
木材・木製品製造業（家具を除く）	4	30	17,242
印刷・同関連業	1	12	X
化学工業	1	16	X
プラスチック製品製造業	1	9	X
窯業・土石製品製造業	10	85	125,192
金属製品製造業	2	14	X
はん用機械器具製造業	1	10	X
輸送用機械器具製造業	5	36	66,168

工業統計調査

(注)「X」は、1または2の事業所に関する数字である。そのまま掲載すると個々の事業所の内容が特定できる可能性があるためXで表している。

第2節 商業

1. 商業の概要

平成26年における対馬の卸小売業は、事業所数444（卸売80、小売364）、従業者数1,695人、年間販売額414億25百万円である。

1事業所当たり年間販売額は、9,330万円（県平均の47.6%）と規模が小さい。

2. 業種別状況

対馬の商業は、事業所数の82.0%を小売業で占めている。販売額を業種別でみると、建築材料・鉱物・金属材料卸売業、飲食料品卸売業、飲食料品小売業の売上げが多い。

第8-2表 平成26年業種別の事業所数、従業者数、年間商品販売額

	合計	卸売業					小売業				
		飲食料品	建築材料・鉱物・金属材料	機械器具	その他	計	繊維・衣服・身の回り品	飲食料品	機械器具	その他	計
事業所数	444	44	17	12	7	80	35	133	47	149	364
従業者数(人)	1,695	172	87	47	37	343	94	491	165	602	1,352
年間販売額(百万円)	41,425	7,782	8,429	1,692	3,262	21,165	740	6,893	1,351	11,276	20,260

商業統計調査

3. 商店街の近代化

島内の商業中心地区は、厳原町の川端通り及び大町通り、美津島町鶏知の国道筋、上県町佐須奈の国道筋、上対馬町の比田勝地区である。

島内の商店街については、今後、中心市街地の活性化のための取組が課題である。厳原町今屋敷地区では、平成18年10月に再開発事業が完了し、既存商店街との連携が期待されている。

4. 商工会

商工会は、「商工会法」(平成5年法改正により現在の法律名となる)により運営されている公益法人であり、平成22年には法施行以来50周年を迎え、地域に密着した総合的な経済団体として商工業の発展に貢献している。

市町村合併等の動きに併せ、商工会についても機能強化のための合併が求められたため、県内のトップを切って、平成16年4月に、旧6町の商工会が合併し、対馬市商工会が誕生した。

対馬市商工会の概要は、第8-3表、商工業関係事業所数等は第8-4表のとおりである。

今後の課題は、会員増強や組織・事業面での効率化等による自立的基

盤の確立、支援機能の強化による質の高いサービスの提供である。

第8-3表 対馬市商工会

(平27.4.1)

名 称	所在地	T E L	会 長	会 員 数
対馬市商工会	対馬市美津島町鶏知甲 550-2	0920-54-8045	齋藤 利光	1,010

※ 厳原、美津島、豊玉、峰、上県、上対馬の6地域に支所を置く。

第8-4表 商工業関係事業所数・従業者数

(平24.2.1)

	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	宿泊業・飲食サービス業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	サービス業
事業所数	3	183	119	3	10	74	582	250	25	138	576
従業者数	13	1,326	600	48	57	649	2,365	999	234	239	2,689

※ サービス業は、「生活関連サービス業・娯楽業」、「医療・福祉」、「教育・学習支援業」、「複合サービス事業」、「サービス業(他に分類されないもの)」等。

経済センサス

5. 貿易

平成26年の外国貿易船入港数は、156隻（うち韓国籍船舶は147隻）であり、貿易額は輸出7億9,614万円、輸入5億8,400万円で、輸出の76.7%が船舶（中古船）、輸入の76.2%が魚介類（生鮮・冷凍）となっている。貿易相手国は、輸出で92.0%、輸入で79.4%が韓国となっている。

第8-5表 外国貿易船入港実績及び貿易額の年次推移

(単位：隻・千円)

年	外国貿易船入港隻数	貿 易 額	
		輸 入	輸 出
平成 22	220(211)	535,532	1,297,953
23	187(174)	476,476	498,806
24	156(149)	572,349	432,017
25	167(159)	515,921	432,452
26	156(147)	583,995	796,136

※()書きは、韓国籍船舶内数

財務省貿易統計

第8-6表 輸出入の内訳

輸出 (単位:千円)

相手国	品名	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
韓国	鮮魚及び冷凍魚類	176,610	97,767	168,718	89,243	52,207
	船舶	808,290	261,440	201,130	251,300	557,700
	一般機械	29,500		2,800		
	木材	10,310	27,152	57,194	81,879	122,179
	電気機器その他	3,000	2,447		10,030	
中国	船舶	11,000				19,000
	その他	7,000		2,175		11,050
香港	船舶	169,243	110,000			
アジア諸国連邦						34,000
ソバール		83,000				
合計		1,297,953	498,806	432,017	432,452	796,136

輸入 (単位:千円)

相手国	品名	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
韓国	魚介類(生鮮・冷凍)	532,616	473,491	481,968	514,625	444,916
	野菜	720	1,591	939		
	繊維物用糸及び繊維製品	1,556	366	691		267
	プラスチック製品	400	528	441	744	1,170
	一般機械	240	500	17,156	552	
	再輸入品その他			70,234		17,000
			920		222	
中国	鉄鋼製構造物及び同建設機材					35,664
	重電機					84,756
合計		535,532	476,476	572,349	515,921	583,995

財務省貿易統計

第3節 物価

対馬の物価は、離島であるため、本土と格差がある。特に、石油製品(主にガソリン、灯油)、自給率の低い野菜類において顕著である。また、生鮮魚介類等についても、生産地であるにもかかわらず大消費地へ出荷されるため、消費地価格の影響を受けるといった問題をかかえている。

第8-7表 石油製品価格

	ガソリン1L			軽油1L			灯油18L缶		
	県平均	離島平均	本土平均	県平均	離島平均	本土平均	県平均	離島平均	本土平均
	現金売	現金売	現金売	現金売	現金売	現金売	店頭	店頭	店頭
平成24年10月	155	174	153	138	162	136	1,729	2,048	1,685
平成25年1月	157	172	155	140	161	138	1,818	2,051	1,761
平成24年度平均	156	175	154	139	162	137	1,765	2,066	1,717
平成25年10月	167	185	166	149	170	148	1,907	2,204	1,868
平成26年1月	167	186	166	150	172	148	1,944	2,225	1,878
平成25年度平均	164	183	163	147	169	146	1,903	2,202	1,846
平成26年10月	171	194	169	151	178	150	2,011	2,314	1,965
平成27年1月	151	180	147	134	165	131	1,769	2,075	1,718

(注)長崎県平均は資源エネルギー庁公表、離島平均及び本土平均は県独自調査による。

長崎県県民協働課調

第4節 企業誘致

対馬では、若年層人口が流出し、高齢化が進行しており、島活性化のためには、基幹産業の第1次産業の振興だけでなく、若者の島内定住、雇用創出を促進するため、企業・事業者の誘致や島内事業者の事業拡大を図っていく必要がある。

対馬市では、平成16年3月に企業誘致に関する条例を制定し、市内において一定規模の投資または新規雇用を行う工場及び事業所等を奨励している。

農林水産物の付加価値を高める農林水産関連産業や近年増加傾向にある外国人観光客をターゲットとした観光関連産業など、対馬の優位な産業を中心として、島内起業を含めた企業立地、地場企業の支援、島外事業者の誘致活動を行い、雇用創出を図っていくことが重要である。

第8-8表 対馬における誘致企業の動向

(平27.12現在)

	企業名	立地町	業種	状況
昭和51	(株)対馬アパレル	厳原町	紳士服縫製	平15閉鎖
昭和63	アルファ対馬工場	上対馬町	ぬいぐるみ	平14閉鎖
〃	光ドレス対馬工場	上対馬町	婦人服製造	平4閉鎖
〃	和田松(株)	美津島町	カーペット	平8閉鎖
〃	(株)ツシマセンイ	厳原町	紳士服	平10閉鎖
〃	イズハラソーイング	厳原町	紳士服	平10閉鎖
平成元	ナビオ(株)	美津島町	自動車用マット	平8閉鎖
平成3	(株)対馬メイワ	豊玉町	婦人服製造	平16閉鎖
〃	光ドレス御嶽工場	上県町	婦人服製造	平4閉鎖
〃	(株)ナカコー上対馬工場	上対馬町	水産食品加工・販売	平11閉鎖
〃	(株)ナカコー美津島工場	美津島町	水産食品加工・販売	平11閉鎖
平成14	対馬大亜ホテル	厳原町	ホテル	営業中
平成21	(株)つしまCASセンター	上対馬町	水産食品加工	承継
平成25	(株)ジャパンシーフーズ	上対馬町	水産食品加工	稼働中
平成26	もりのめぐみ協同組合	美津島町	木材加工	稼働中